

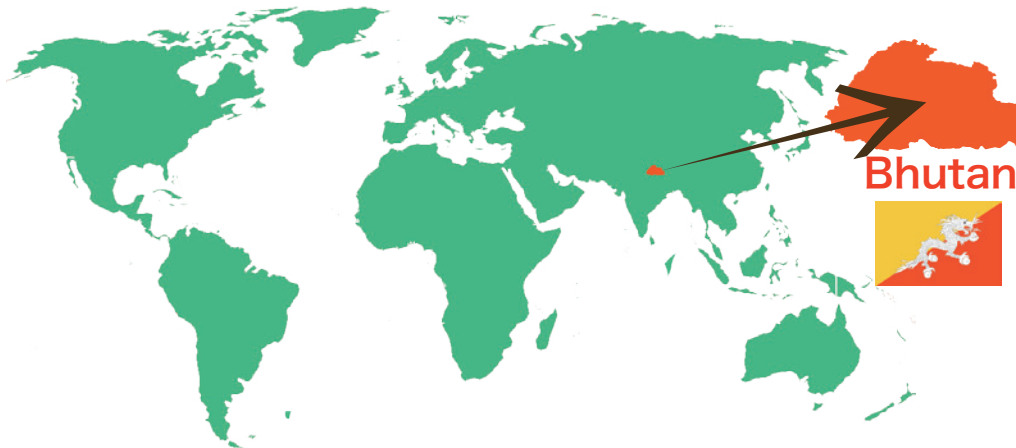
# ブータン瓦版

## ～紹介編～

### Vol.1



はじめまして！クズザンポーラ！2016年7月からブータンの国立乳製品研究センターで乳牛の飼育環境の改善や、チーズやヨーグルトなどの乳製品の開発をしています。高山市生まれ、恵那市育ちです。岐阜県の皆様にブータンの情報をお届けしていきたいと思しますので、よろしくお願い致します！！



#### 「幸せの国 ブータン」

ブータンといえば「幸せの国」とまず思い描く方も多いのではないのでしょうか。2005年の国勢調査で国民の97%が「幸せ」と答えたのは有名です。「国民総幸福量 GNIH (Gross National Happiness)」はブータンが目指す国づくりの指標です。ブータンは1971年まで長い鎖国をしていましたが、いまでは豊かな自然と伝統を守りながら近代化が進んでいます。

ヒマラヤ山脈の南に位置し、面積は九州と同じくらい。緯度は沖縄と同じ程ですが、私の住むユシバンという村は、標高3000メートル近くあり、冬はとっても寒いですが、夏でも快



いつもより豪華な民族衣装を着て記念撮影。

#### 「ブータンと日本」

2011年の東日本大震災の時には、ブータン国王主催で被災者の安全を祈禱する式典が開かれ、国王王妃両陛下が来日された時、



自宅からの風景。雲海が幻想的。

適に過ごせます。これだけ標高が高ければ高地トレーニングにうってつけ！とランニングを意気込みましたが、リンゴが豊富なこの地域は熊がリンゴを食べにくるから危ないよ、と言われ断念しました…。

ブータンでは国のアイデンティティを守るため、職場や学校などの公共の場では、民族衣装を着るよう定められています。男性はゴとい、女性はキラといっています。私も毎日キラを着て通勤しています。民族衣装について詳しくは次号で紹介いたしますね。

私は初めてブータンという国を知りました。きりりとして端正な国王と、若くて美しい王妃の姿をテレビで眺めていました。あの時はその5年後ブータンに来れるなんて想像もしていませんでしたが。



ブータン国王と王妃

1964年にブータンに派遣された農業の専門家、西岡京治氏は1992年に現地地で亡くなるまでブータンの農業開発に力を注ぎました。西岡氏はブータンに豊富な野菜を普及し、その功績から、当時の国王から「最高に優れた人」を意味する「ダシヨー」の称号を与えられました。ブータンで「ダシヨー・ニシオカ」の名前を知らない人はいないといっても過言ではありません。

西岡氏と共に農業開発を行ってきた方々のお陰で、市場ではたくさんの種類の野菜が買えます。私はいつも近所さんから、日本の種で育てた野菜をおすすめしてもらっています。

国王は親日で、これまでも日本との友好な関係があり、顔立ちも似ている事から、私はとても居心地の良い日々を送っています。穏やかで優しくて家族思いなブータン人との生活をたっぷり堪能し、残りの任期を楽しみたいと思います。



市場にて豊富な野菜や果物が買える。